

令和8年度 外国語専科及び外国語活動・英語班の発表

子どもが考え方や気持ちを伝え合う授業を核とした
小中連携による英語教育の充実に向けて

令和8年1月20日

発表者 名寄市立名寄西小学校 尾崎久美教諭（小学校外国語専科教員）
名寄市立風連中学校 石川究教諭（外国語活動・英語班長）

1 言語活動について

外国語活動・外国語科の目標

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、
外国語による**聞くこと、話すこと、(読むこと、書くこと)**の言語活動を通して、コミュニケーションを図る**素地(基礎)**となる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

※（ ）は外国語科

言語活動：自分の考えや気持ちを伝え合う活動

Repeat after me.

What sports do you like?

I like tennis.

「ほんもの」
目的、場面、状況などの設定

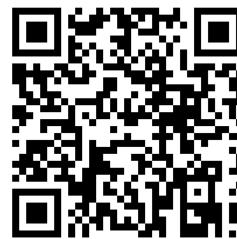
言語活動の練習

言語活動

2 授業づくりについて

①バックワード デザイン

ゴールを考え、
ゴールから逆算して
授業を組み立てる



名寄市版CAN-DOリスト

NAYORO CAN-DO LIST

Updated:2025.12.5

義務教育卒業段階の目指す姿： ふるさと名寄を愛し、その良さを世界に発信しようとする意欲があり、互いの考え方や気持ちを英語で伝え合うことができる人

領域	小学校・義務教育学校前期課程 第4学年修了段階	小学校・義務教育学校前期課程 卒業段階	中学校・義務教育学校後期課程 卒業段階
聞くこと	ゆっくりと話された際に、身近で簡単な事柄に関する基本的な表現の意味が分かる。	ゆっくりとはっきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、短い話の概要を捉えることができる。	はっきりと話されれば、日常的、社会的な話題について、話の概要や短い説明の要点を覚えることができる。
読むこと			
話すこと [やり取り]	簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分のことや身の回りの物について、動作を交えながら、自分の考えや気持ちなどを伝え合ったり、サポートを受けて、自分や相手のこと及び身の回りの物について、質問をしたり質問に答えたりする。	簡単な語句や基本的な表現を用いて、日常生活に関する身近で簡単な事柄や欲求などについて、自分の考え方や気持ちなどを伝えることができ、自分や相手のことなどについて、その場で質問をしたり質問に答えたりして、伝え合うことができる。	簡単な語句や文を用いて、日常的な話題や名寄市について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、即興で伝えたり、相手からの質問に答えたりして、伝え合うことができ、社会的な話題について、自分の考え方やその理由を述べ合うことができる。
話すこと [発表]	簡単な語句や基本的な表現を用いて、身の回りの物や自分のこと、日常生活や名寄市に関する身近で簡単な事柄について、人前で実物をなどを見せながら、自分の考え方や気持ちなどを話す。	簡単な語句や基本的な表現を用いて、日常生活や名寄市に関する身近で簡単な事柄や伝えようとする内容を整理した上で、自分の考え方や気持ちなどを話すことができる。	簡単な語句や文を用いて、日常的な話題や名寄市について、即興で話したり、事実や自分の考え方、気持ちなどを整理し、まとまりのある内容を話したりすることができ、社会的な話題について、考え方やその理由などを話すことができる。
書くこと		自分のことや身近で簡単な事柄について、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を、語順を意識しながら書き写したり、例文を参考に書いたりすることができます。	簡単な語句や文を用いて、日常的、社会的な話題や名寄市について、事実や自分の考え方、気持ちなどを整理し、まとまりのある文章を書いたり、考えたことや感じたこと、その理由などを書いたりすることができる。

各学年の
ゴールの姿

小4 動画

小6 動画

中1 動画

中3 動画

中2 動画

GOAL

ふるさと愛
伝え合う力

CEFR A1
3級レベル
R7 50%
R8 55%
R9 60%

基準教科平成改定
の基準目標

言語活動
中心の
授業

小学校4

小学校5・6

中学校1・2・3

※更新日（2025年12月5日）時点で、まだ動画はアップされていません。今後、随時、動画をアップします。

②ゴールの姿をイメージさせる ALTとゴールの姿の見本を見せる

3 スパイラル学習

2025 小学校外国語専科教員 名寄西小 尾崎教諭

①既習事項

既習事項を繰り返し使用し、つながる会話、より自然な会話を目指していく。

②リアクション

■小学校学習指導要領外国語活動・外国語より

「言語は、人との関わりの中で用いられるため、他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながらコミュニケーションを図ることが求められる。」

(例：聞き手の理解の状況を確認しながら話しているか、相手の発話に反応しながら聞き続けようとする態度を示しているなどの相手への配慮が求められる。)

That's right!
(その通り！)

Good idea!
(いい考え！)

I see.
(なるほど)

Me too!
(私も！)肯定

Really?
(本当？)

I don't know.
(わかりません)

Sounds nice!
(それはいいね！)

Wonderful!
(すばらしい！)

Why?
(なぜ？)

Me neither!
(私も！)否定

Anything else?
(他にある？)

How about you?
(あなたはどう？)

小中連携って簡単に言うけど難しい…



先生方の声（市・外国語活動・英語班）

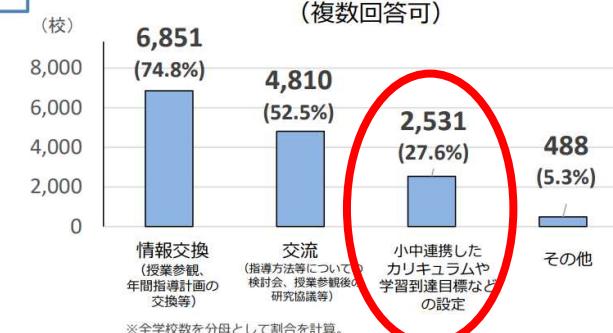
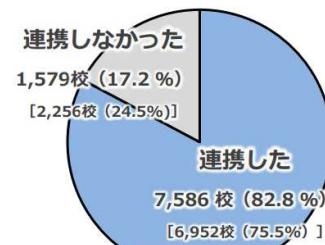
- （小・中学校の先生方の声）授業を見合って言っても、時間がない・・・
- （中学校の先生方の声）複数の小学校から中学校に入学するし、全部見られない・・・
- （小学校の先生方の声）小学校は一人で全ての教科を教えなければならないのに、
外国語の授業づくりにこだわる時間はない・・・

R 5 英語教育実施状況調査（国）

小学校・中学校・高等学校の連携に関する状況

- 小学校との連携に取り組んでいる中学校の割合は82.8%（昨年度比7.3%増加）。
○情報交換だけでなく、指導方法の交流やカリキュラムの設定等、より充実した連携に取り組む必要。

小学校との連携に取り組んでいる中学校



小中で、情報交換(74.8%)や交流(52.5)は行っているが、小中連携したカリキュラムや学習到達目標の設定(27.6%)は国レベルで課題である。

(Study Valleyより)

まとめ・表現12パターン

- | | |
|-------------|--------------------|
| ① レポート、論文 | ⑦ パネルディスカッションを行う |
| ② 新聞 | ⑧ シンポジウムを行う |
| ③ ポスター | ⑨ 総合学習を行う |
| ④ プレゼンテーション | ⑩ 地域社会に向けて報告会を開く |
| ⑤ ウェブページ | ⑪ 社会参加や社会参画を目指す |
| ⑥ 制作、ものづくり | ⑫ 校外の大会やコンテストに参加する |
- (番外編：eポートフォリオ)

外国語活動・英語班の小中連携の取組

コミュニティづくり

- 小中学校の先生方の
縦、横のつながり
づくり♪

「まずは顔見知りになら
ないと、お願ひってし
らいですよね・・・」



「1学期 外國語活動・英語班の研修の様子」

教科書の読み合い

- 小学校、中学校の
教科書を読み合う♪

「9年間の学びがどの
ようにつながっている
んだろうか！？」



ギャップを埋める

- 中1 ギャップを無くす
ために何ができるか。
そもそもギャップって？

「音声中心だったのに、書
かなきゃならなくな
る・・・」

市のALT4名の力
も借りて…

皆で教科書を
読み合う
⇒カリキュラ
ムの見比べ



各教科9年間の学びのマップを描いてみよう！

●やれることからやってみる♪

→ 声かけが変わってくる！児童生徒、保護者、地域の安心感にもつながる！

※教科書を見てみる、成果物をロイロノート等で共有、カリキュラム共有など

●小学校の教科書を使って導入することで、中1ギャップ解消♪

→ 中学校の学習ってほぼ小学校でやってる！？

●各教科、どんな接続ができるのかな？

→ お互い歩み寄ってみたら驚きの発見がある！

全ての教科で
小中連携の充実を！！

